

令和最初の正月を迎えて



旭市長

明智忠直

令和2年、元号が変わり初めての正月を迎えました。明けましておめでとうございます。

昨年5月に令和の新しい時代が始まりました。夢のある希望や期待に満ちた、美しい国日本の発展を願う新年であります。天皇陛下の退位という形での継承であり、一抹の寂しさはあるものの、上皇陛下、上皇后陛下が元氣な姿での引退でありました。国民みんながねぎらいや感謝の気持ちを感じた、平成の終わりであったと思います。

令和元年となった昨年は、誰もが災害のない、平和で安全な一年であ

りたいと願っていたのではないでしょう。旭市もこの令和の時代、さらに飛躍した時代になるようにと、さまざまな事業の推進に、努力していかねばならないと思ったところでもあります。

しかし旭市の夏の大きな観光資源である海水浴場などでは、梅雨明けの遅れや、7月のぐずついた天候の影響により打撃を受けました。また9月、10月の台風災害では、ますます巨大化する自然災害になすすもなく、大きな被害を受けてしまいました。改めて、地球温暖化を止めなければならぬと思った次第であります。

そんな中、昨年を振り返ってみますと、旭市では総合戦略に沿った各種事業は、順調に進捗をみているところでもあります。新庁舎建設や道路インフラの整備、人口減少へ歯止めをかけるための大きな役割を担う生涯活躍のまち構想、子育て支援など、いずれもクリアしなければならぬハードルに、取り組んでいるところであります。

中でも道路整備につきましては、地域の発展に不可欠な主要道の整備を、数多く進めているところであります。震災復興事業である津波避難道路、総合戦略に掲げる飯岡海上連絡道、旭中央病院アクセス道南北線、南堀之内バイパスと、いずれも順調に進捗しております。県事業である、鹿嶋と成田を結ぶ清瀧トンネルの開通の時期と併せ、完成に向け頑張っているところであります。

そして銚子連絡道路も早期事業化に向け、ルート決定の準備などを進めているところであります。東総地区にとっては絶対不可欠な大動脈であり、圏央道からの連絡道路として、ぜひ早期に完成をしてほしいと、今までに21回もの整備促進大会を開き、国に要望をしているところであります。

また生涯活躍のまち形成事業では、国や県の理解をいただきながら、確実に前進しております。若者の定住の拠点として、魅力あるまち「みらいあさひ」の完成を目指しているところであります。



旭市も合併して15年が経過しようとしています。ようやく新庁舎ができ、一つの市としての体制が整います。このまちづくりの拠点施設が、これからの旭市全体の発展につながるよう、みんなで知恵を出し合い、令和の新しい時代を進んでいきたいと思ひます。

住民福祉の増進と地域の発展のために



旭市議会議長

伊藤 保

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、穏やかな一年を願い、希望を持って新しい年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また日ごろより、市政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は昨年の12月議会におきまして、議員各位のご推挙により第15代議長に就任致したところでございます。全力を傾注して旭市の発展に尽くしてまいりますので、よろしく願っています。

さて世界の情勢をみると、米中両

国間の貿易紛争も長期化の様相を見せており、経済力第1位のアメリカと第2位の中国による覇権を巡る争いは、国際社会の不安定要素となっています。また世界で自国第一主義が拡大するなどの不安定化も懸念されます。

一方国内に目を向けると、昨年10月には消費税増税があり、消費者の負担増を緩和するため、生活必需品への軽減税率制度の導入や、キャッシュレスポイント還元などの景気対策があったものの、経済情勢はまだ先行きが不透明な部分もあります。

全国的に人口減少、高齢化社会が問題になっていますが、旭市でもそれらに対応していく必要があります。旭市では現在「第2期旭市総合戦略」を策定中です。今後は人口減少、高齢化社会に対応する、時代を見据えた社会基盤の構築を図る必要があります。そのためには、旭市の持つ地域資源である、診療圏人口100万人を誇る国保旭中央病院や、県下一盛んな農業をはじめ、それを基盤とした商工業、水産業、豊かな自然

環境を活用した観光産業に、さらに磨きをかけ、最大限に生かしていくことが大事なことを考えております。また近年では、想定外といわれる自然災害が全国各地で発生しております。当市でも昨年秋の台風で大きな被害があったところです。市民が安心して暮らしていくためには、災害対策にも一層力を入れていかなければならないものと考えます。

少子高齢化への対応や地域活性化のためのインフラの整備、市民の安全安心の確保など、限られた予算の中で各種事業を進めていくに当たり、議会において活発な議論を交わしながら、住民福祉の増進と地域の発展を念頭に、より良いまちづくりを推進してまいります。

新たな年を迎え、今後ますます地方の活性化が求められていきます。市議会としましては「市民に開かれた議会」を目指し、市議会の活性化と改革に取り組み、旭市の発展のため、誠心誠意尽くしてまいれる所存でございます。市議会本会議はインターネットを通じて、自宅のパソコン

ンやスマートフォンなどで中継が視聴できますので、ご覧になり関心を持っていただきたいと思います。

結びに、本年が皆さまにとりましてより実りある飛躍の年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のあいさつと致します。

